



シオノギ Shionogi Web Conference
Webカンファレンス

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、「がん疼痛治療」「緩和医療」をテーマにインターネットを用いたカンファレンス形式の講演会を企画いたしました。特に講師の豊富な臨床経験・研究成果などから最新の知見を交えてご講演いただき、ご質問にもお答えいただきます。ご多忙のこととは存じますが、是非ともご臨席賜りますよう、お願い申し上げます。

開催日 2012年4月27日(金)

時間 19:00～20:10

知っておきたいがん疼痛治療のコツ

静岡県立静岡がんセンター緩和医療科 部長 **大坂 巖** 先生

近年、わが国においても、患者・家族や医療従事者の緩和ケアに関する認識が高まってきている。

各種の研修会やガイドラインなどの登場によって、がん疼痛治療も均てん化を迎える時代となってきている。

2002年には15種類しかなかったオピオイド製剤は、2011年には31種類と2倍にまで増加している。十分とは言えないが、鎮痛補助薬の種類も増えてきている。がん疼痛治療の戦略は理解した。豊富な武器(鎮痛薬や鎮痛補助薬)も手に入れた。これだけでがん疼痛に挑むことはできないことはないかも知れない。しかし、より良いアウトカムを求めらるるのであれば、戦略が生まれてきた背景、武器の選び方や使い方などに造詣があるのに超したことはない。経験も必要であることは間違いないが、ちょっとしたコツが臨床に役立つこともある。

本カンファレンスでは、新規発売となるオキシコドン注射剤の国内臨床試験での経験も含めて、中村雄二郎が言う「臨床の知」のようなエッセンスをお伝えさせていただく予定である。

※ 中村雄二郎 哲学者 著書「臨床の知とは何か」

【プロフィール】

昭和 62年 3月	筑波大学第二学群生物学類卒業
平成 元年 3月	筑波大学大学院環境科学研究科中退
平成 7年 3月	千葉大学医学部卒業
	4月 千葉大学医学部附属病院放射線科
平成 9年 7月	沼津市立病院放射線科
平成 12年 10月	千葉大学医学部附属病院放射線科
平成 14年 4月	静岡県立静岡がんセンター緩和医療科副医長
平成 20年 4月	同医長
平成 22年 4月	同部長

日本緩和医療学会	緩和医療専門医 代議員 専門医認定・育成委員 指導者研修会協力者
日本サイコオンコロジー学会	呼吸器症状・消化器症状ガイドライン作成部会委員
日本医学放射線学会	コミュニケーション技術研修会ファシリテーター 放射線診断専門医

厚生労働省がん研究開発費「がんの代替療法の科学的検証に関する研究」分担研究者

開催場所:

院内2F 第2会議室 (旧第3会議室)

※当日はお弁当をご用意しております。

文部科学省:がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン【関連事業】

主催:塩野義製薬株式会社